

Q. 本プログラムを受講されたきっかけをお聞かせください

<2021 年度修了者>

- 自身の開発した非認知能力開発に寄与する授業プログラムの検証（アカデミックなエビデンス等）と深掘りのため
- リーダーシップ開発・組織開発への興味関心と同僚からの勧め
- 自身のマネジメントや会社の成長性に悩みを持っていた
- 受講を通じて、自分の適性・能力とも向き合いながら他者のリーダーシップを開発する能力を伸ばしたいと考えたため
- 企業の人事部門で社内人材開発を担当しており、実務のヒントを探したいという期待があった。知識をただインプットするのではなく、実践や受講者同士での対話を通して色々な角度からリーダーシップを考える場がある点に大きな魅力を感じていた
- 権限のないリーダーシップは学ぶことができるということに興味があった
- これまでの経験の中で体験と共に学んでいたことを論理として学び直したかったため

<2022 年度修了者>

- リーダーシップ・コーチングを体系的に学びたかった為
- この種のプログラムでフルリモートはなかなかなかったので参加しやすいと思ったため
- 業務でリーダーを務める中で様々な課題を感じていたため
- 現業に近い分野でもあり、組織開発についてのアプローチとして知っておきたいと思ったため

<2023 年度修了者>

- マネージャーとなり若手・ベテランの主体的な行動・成長を促す必要性が出てきたため。
- 前年に学んだデザイン思考を事業で実践する上で、自身が現在持っている「権限」との付き合い方、取り扱い方を学びたいと思ったから。また変化の激しい時代を乗り切るために組織内に自発的な行動をとれる社員を増やしたいと思ったから。
- 勤務先でリーダーシップ教育を導入したいと考えたため。
- キャリアアップのため
- 斬新な・知的好奇心を満たしてくれるに違いない という期待

<2024 年度修了者>

- 職場でリーダーとして、働いているため。リーダーシップについて、学びたいと思ったため。
- 他者のリーダーシップ開発に興味があったため
- 権限によらないリーダーシップを身に着けたいと考えたため
- リーダーシップの学びなおしをしたいと考えたため。どういったリーダーシップをとればチーム・組織として、成果が出せるのか知りたかったため。
- 「不満を提案に変えるリーダーシップ」と「権限によらないリーダーシップ」に興味を持ったから。
- 同僚（先輩）が受講しており、その同僚の職場での実践を間近で見ていて、本プログラムの意義を感じたため。

Q. プログラムの中で特に印象に残った内容と、その理由について教えてください

<2021 年度修了者>

- 質問会議。質問だけで問題を解決するという点が自分の中で新しく、また効果を感じたため
- 最終プレゼンの前週の授業。自分たちの学びとなる時間の使い方を自分たちで考え実践する形式だったため
- 最終課題、同期全体でのブラッシュアップを経過で見ることができ、集大成となったため
- ペアワークやグループワークの多さが印象的であった。またその相互フィードバックの価値がよく分かりました
- 質問会議が印象に残っています。理由は、質問することとフィードバックのパワーを実感できたからです。前向き質問や質問会議を通して、役職者などへ反対意見を発する際は自分の意見を述べるだけでなく、視点を変えたり相手の考えを引き出したり、質問して導くことができることなど学びが大きかったです。また経験学習サイクル理論も印象的です。内省に他者からのフィードバックを活用することは今後実務で取り入れていきます
- 各講義のグループワーク。受講者同士で、互いの学びを引き伸ばしていたと感じたから。理論を学んで終了ではなく、すぐに試してその難しさや面白さを体感する過程が確保されていた点が非常にありがたかったです
- ファシリテーションとフィードバック。経験によるところが大きかったが、理論を学ぶことで、業務にすぐに活かすことができたので

<2022 年度修了者>

- 1 回以外、全てオンラインで講義がすすんだにも関わらず、受講者感の親密さや関係性が濃いものとなった。また学生との質問会議の場では AL の役割など、学生の習熟度のレベルなど、非常に高く、この学びの早期学習の意義を体感できた点。
- リーダーシップ持論の変化。一人ひとりの学びの昇華がよくわかる。日常の経験の違いから、各自の特性と納得感が持論に良く表れていて興味深い。
- ともに学ぶ存在があった点。仕事の分野、立場や年齢も異なるメンバーとの学びは刺激的だった。プログラム内容による影響も大きいと思われるが、それぞれの自己開示が進んだことも効果的だったと思われる。
- 実践が想定より多かった。事前インプットの十分さよりも実践を優先していると思われる部分もスピード感があってよかったと思われる。
- 自身が無意識的に避けていた分野についてもある程度網羅的に把握できた。

<2023 年度修了者>

- リーダーシップの概念の変化（権限によらないリーダーシップが発揮できる仕組み）
- 最終課題を通して、受講生同士でシャワーのようにフィードバックをし合ったこと。同じ課題をこんなにも深くブラッシュアップしたことはなかったが、自分の課題について、フィードバックをいただくだけでなく他者の課題に自分も向き合う中で、抽象度の上げ下げを繰り返した結果、どんどん解像度があがっていき、経験学習サイクルを回せたのは貴重な経験だった。
- リーダーシップ最初 3 要素。また、リーダーシップはライフスキルであるということが特に印象に残っています。受講当初は最小 3 要素を知識としてインプットしましたが、回を重ねるごとに 3 要素を理解ではなく実践することが大切だと強く感じました。
- 実践的な学びが多かったため、休日にインプットしたこと平日トライするというサイクルが良かった

- 最終課題のブラッシュアップ。何度もフィードバックをしあったことで思考がまとまり、また本質に近づけることを体感した。それが、特にコーチングなどのプロフェッショナルではない間でも起こることに感動した。そして希望を持った。
- ストーリーテリング。自身の殻を破る経験ができた。
- リーダーシップ持論発表、自分のリーダーシップに対する価値観を作ってみる機会になった
- 質問会議。構造化された会議が実施できたことや、大学生のナビも素晴らしかった

<2024 年度修了者>

- 毎回の授業がとても充実したものであり、リーダーシップに必要なものであったため、特に「これ」と限定することはとても難しいです。強いて挙げるとすれば、フィードバックがたくさんいただいた質問会議、ファシリテーション、ストーリーテリング、ステークホルダーズワーク、持論 2.0、最終課題発表です。「自分が何を伝えるか」よりも「相手に何が伝わったか」が重要であることを学びました。効果的に伝えるためには、「自分の意図を正確に相手に伝える」スキルと、それを磨くためのトレーニングが必要であると実感しました。
- 質問会議という手法で、再定義によって問題の本質に迫る、またそういった質問を自分で投げかけるということを実践し、適切な質問をすることの難しさを改めて感じた。
- ホームカミングデー 理由：準備から運営まで一丸となって成し遂げた。仲間意識が高まった。
- 質問会議。質問に苦手意識を持っていたが、端的に質問するスキルや質問をもらうことで自身の理解が深まる気づきを得られたため。
- 課題解決および他者支援の場としての質問会議。社内研修のワークとして活用できそうだから。
- リーダーシップ持論 2.0 です。リーダーシップ日記での他者のリーダーシップの観察やワークにおけるリーダーシップの発揮や振り返りとフィードバック、受講生企画やイベントでの経験、リーダーシップ行動を通して持論のバージョンアップをさせた。文字にしたことでより明確に解析できたため。

Q. 今回の学びを仕事のどんな場面で活かそうですか

<2021 年度修了者>

- そのまま教員研修に組み込もうと考えています
- あらゆる場面
- 社内外コミュニケーションの際
- 様々な場面でのフィードバックと、若い層へのリーダーシップ開発の支援
- 最終課題を通して、所属チームに現状課題、ありたい姿、メンバーがどのようにチームに貢献したいかをヒアリングし、問題を共有しました。「最終課題」を提出するだけに終わらせるのではなく実際に、最終課題で考えた企画を進めていく予定です。また得た知識やスキルは身につけただけでは意味がないので他者にとっていい影響になるよう発揮していきたいと思います
- 受講中から、自部署業務である若年層向け研修プログラムに、学んだ要素を部分的に取り入れてきました。中でも、目標設定→実践→振り返りという流れは、来期以降はプログラムのスタンダードとしていきたいと考えております。
- 修了後すぐに、同期の方とタッグを組み、有志の若手教員に向けたリーダーシップ開発プロジェクトをスタートさせました。講義で学んだことをもう一度整理しながら、自分なりに周囲へ還元していきたいと考えています。業界・業種が

異なるため緊張感もありますが、どんな化学反応が起こるか今から大変楽しみです

<2022 年度修了者>

- 今後の自信のリーダーシップ開発と、組織で働く際、メンバーの育成と連動して組織開発に活かしたい。また家族のチーム構築の中でも活用できると感じる。
- 部下との 1on1、マネージャーの育成、組織開発
- 自組織の組織開発、自身のマネジメント（とくにメンバーへの動機づけ）
- リーダーシップを使用するあらゆる場所で利用できそうなのと、社内にもこの理論を広めていきたいです。

<2023 年度修了者>

- 若手・ベテラン社員の行動変容や育成、組織のコミュニケーション活性化
- 最終課題（実践）を通して、権限を持つ管理職や経営層と、権限を持たない社員の双方に、再現性の高い知識とスキルとして学んでもらい、組織開発を進めたい。
- 社内の活性化、新しい価値を創造できる組織にする際に最小 3 要素を意識できるよう研修として取り入れていきたいです。
- 意図的に共に働く人や生徒のリーダーシップを引き出すことができそう。勤務する高校内だけでなく様々な場所で広がる働きかけができる。
- 友人や家族などプライベートにおいて他者の自己啓発にも活用できる
- 『権限によらないリーダーシップ』という概念は、すべての分野に通じるものです。研修、セミナー、1on1、あらゆる面で活用できます。
- 円滑な組織のコミュニケーション

<2024 年度修了者>

- 自身がリーダーの役割を任された時。リーダーの役割でない時にチームのために貢献する時。他者のリーダーシップ開発支援をする時など。
- 自社の教育体系構築や社内研修の企画・実施場面。
- 組織の中で権限によらないリーダーシップを発揮することはもちろん、組織課題に目を向け、リーダーと共に組織をよりよい方向に進める一助になりたい。
- 会議やプロジェクトといった特定の場面に限らず、日常のコミュニケーションの一つひとつが実践の場だと感じています。

Q. 今後受講を考えておられる方にメッセージ

<2021 年度修了者>

- 120 時間で新たな「自分」になれます！大人も学び続けられるし、変わることができるということを実感しました
- この 120 時間をこれから体験できることが羨ましく思います
- 既に考えていらっしゃるなら、受講してみることをおすすめします！ひとりひとりの総和で作っていくプログラムなので、困ったことが出てきたとしても後からなんとでもできます
- 大変だけど走り始めると直ぐです。相互支援で乗り切れます！
- 組織に不満や悩みを持っている方は、是非、受講してみよう。不満や悩みを提案に変える自分に会えると思います
- リーダーシップを集中的に学ぶことができる。学んだことを実践して内省することをおして、他者とのかかわり方が徐々に変化する。自分の変化を楽しむことができる講座です
- 職場でのコミュニケーションから組織開発まで、今足りないと感じている問題の解決への糸口が見つかるかも！？

<2022 年度修了者>

- 自分に最適なリーダーシップを見つけるヒントを沢山学べます。「知っている」から「使える」リーダーシップ持理論を持てるようになると思います。・・・と伝えたいです。
- 会社員となり、日々のルーティンに忙殺される日になりがちですが、改めて自費で学び、仲間と学ぶ達成感を感じて欲しいです。120 時間なにかに打ち込むという経験は、その後の学びの時間の創出についても貴重な体験だと思います。
(資格の勉強にしても、何時間勉強するという目安の中で感覚がついた為)
- リーダーシップの捉え方が 180 度変わるかもしれません。みんなが生き生きと働くために、豊かな人生を過ごすために迷っているならご受講をお勧めします。
- 知識はあっても実践する場がなかなかない人にはおすすめ。とくに実際の現場ではなかなか失敗できないが、この場であればフィードバック付きで失敗できる。
- 本気で学びを得たいと思ってる方にお勧めです。学ぶことの楽しさを実感できますが、考えすぎてびっくりするほど脳が疲れます！！

<2023 年度修了者>

- これからリーダーシップを組織内に推進していきたい方はぜひ受けてください。個人の経験のみによる講座ではなく、しっかりとしたエビデンスを元に行っているため説得力がある、また実践を積んだ講師陣であるため講座生のリーダーシップを引き出す場作り、講師としての在り方が自分のロールモデルともなる。
- 大変ですが、間違いなく自身の身になる内容なので、前向きに取り組んでください。
- 人として、親として、社会人として、是非習得していただきたい概念です。特に、『人を育む』立場にいらっしゃる方なら、軸が確立され、自信を持ってご自身の役割に向き合っていただけるのでは、と思います。
- 組織のリーダーシップ開発に興味がある方にピッタリです。

<2024 年度修了者>

–リーダーシップは鍛えれば強化できることが実感できるプログラムですので、リーダーシップに自信がない方でもおすすめできる講座です。

–プログラムの内容はもちろんですが、同期の受講生から学ぶこと、フィードバックし合うことで得られるものも多いので、他の受講生との関わりを味わいながら、プログラムを楽しんでください！

–大きな学びや仲間が得られると思います。ぜひ飛び込んで真剣に取り組み楽しんでください。

- ・実践的な学び：WLC は単なる座学ではなく、実際のビジネスや組織で活用できるリーダーシップスキルを学べます。
- ・リーダーシップは誰にでも可能：権限や役職に関係なく、誰でもリーダーシップを発揮できるという考え方が中心です。WLC では、周囲を巻き込み、影響力を発揮するための具体的な方法を学びます。
- ・多様なバックグラウンドを持つ仲間：受講者の職業や業種が多岐にわたっているため、異業種のリーダーやプロフェッショナルと意見を交わし、新たな視点を得られる環境です。
- ・リーダーシップの再定義：WLC を通じて、自分らしいリーダーシップスタイルを確立する機会が得られます。私は「お父さんのような存在」とフィードバックされるリーダーシップスタイルを発見しました。
- ・チャレンジングな課題への取り組み：権限によらないリーダーシップの実践に向けた課題やディスカッションは、非常に挑戦的であり、自己成長を促進します。
- ・手厚いサポート体制：プロフェッショナルな講師陣による丁寧なサポートやフィードバックがあり、リーダーシップのスキルを着実に身に付けられます。
- ・アラムナイ：卒業後も続く強力なネットワークを築けることも魅力です。

以上